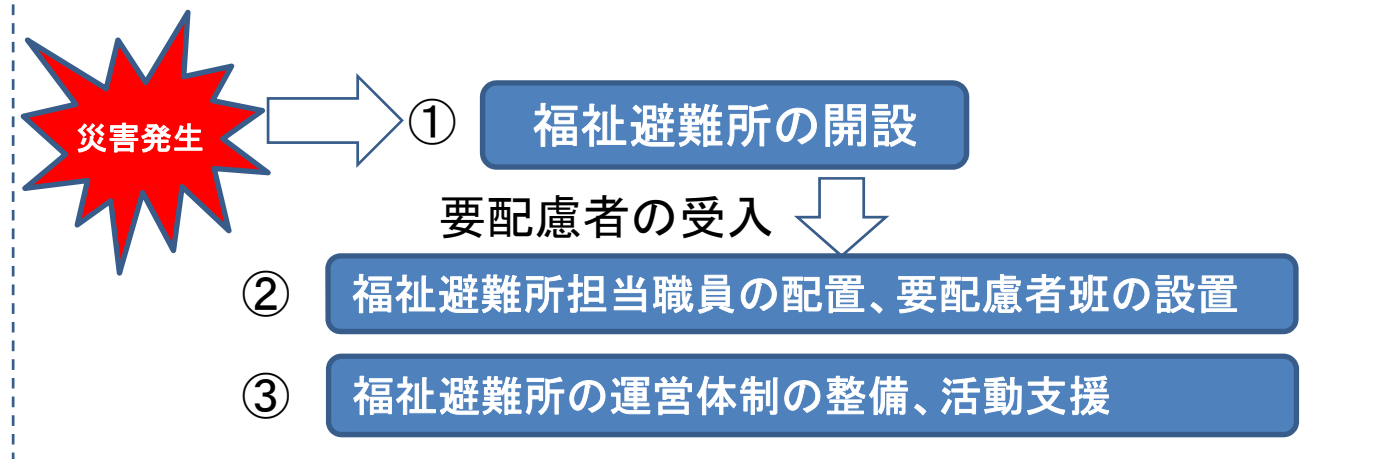


福祉避難所について

福祉避難所の確保・運営についてのフロー（抜粋）



① 福祉避難所開設に関する課題

甚大な被害を受けた福祉避難所指定施設

ライフラインがストップ、食糧の確保も困難。すべての機能がマヒしている状況では、入居者の方々の安全確保をするだけで精一杯の状況

比較的広く安全な場所を提供できる施設に、地域の方々が避難してこられる。

※要配慮者を優先となっているが、命の危険にさらされている地域の方々の受入を断ることはできない。

② 福祉避難所担当職員の配置、要配慮者班の設置についての課題

支援者自身も被災

支援者自身が被災している中、支援者を確保するのが困難。

福祉避難所担当職員を配置することができない。

③ 福祉避難所の運営体制の整備、活動支援の課題

激震地では行政機能がマヒ。コーディネーターの必要性

激震地では役所が使えなくなり、行政機能がマヒ

福祉避難所の運営、支援を統括するコーディネーターの必要性。現状の把握ができないため、要配慮者の状況、福祉避難所の状況を把握することができなかった。



福祉避難所について

- ・激震地(益城町)においては、福祉避難所として機能することは難しい。
- ・激震地(益城町)においては、行政の機能がマヒしてしまう。
- ・状況を把握するコーディネーターの必要性。

※ 熊本市においては、福祉避難所は機能していた。なぜ？

益城町と熊本市の違い

熊本市も被害は大きかったが、益城町と比べると・・・

- ①交通のインフラが整っていた。回復も早かった。
- ②行政が機能していた。ボランティアの受入。マッチング

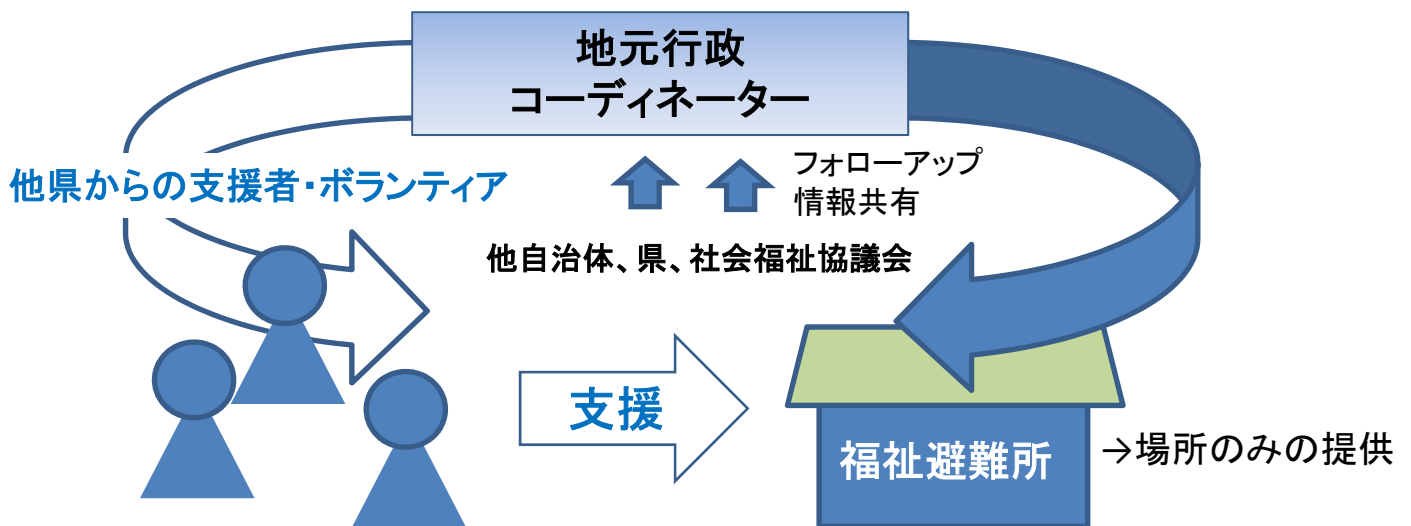
熊本市においても、震災直後(3日間ほど)は福祉避難所を機能させるのは難しかった。
熊本市においても、支援者が不足している状態。

熊本地震を経験して気づいたこと。こうすれば福祉避難所は機能するのでは？

課題①支援者不足 →他県からの支援者・ボランティアの活用

震災直後から、他県より支援者が来てくれた！感謝！

支援団体：日本障害フォーラム(JDF)や日本相談員支援専門員協会(NSK)
九州ネットワークフォーラム、みらいず、その他ボランティア



課題②行政機能がマヒ。コーディネーターの必要性 →県や社会福祉協議会に業務委託

事前に委託内容を確認。要配慮者名簿などの情報を共有

福祉避難所において、避難場所の提供だけであれば、実施することができる事業所があった。